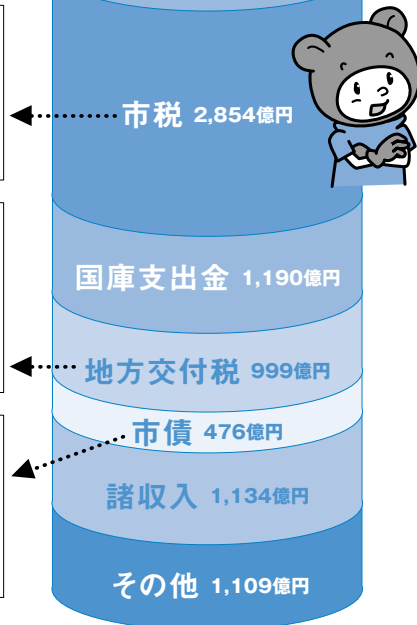


一般会計 予算の 概要

市の1年間の収入のことを歳入、支出のことを歳出といいます。
20年度の歳入歳出は、7,762億円。19年度から40億円(0.5%)
減と、ほぼ前年度並みの水準となっています。



歳入総額
7,762億円



市税 +4億円

法人市民税や市たばこ税が減少しますが、固定資産税などが増加します。

地方交付税 -58億円

国から交付されるお金。2年連続で減少しました。

市債 -11億円

市の借入金。新たに発行する市債の額を抑える努力を続けており、5年連続減少しました。

保健福祉費 +134億円

後期高齢者医療制度創設により、諸支出金から振り替えたことなどで大幅な増となりました。

職員費 -5億円

退職手当が増えますが、職員数削減などの取り組みにより全体では減少しました。

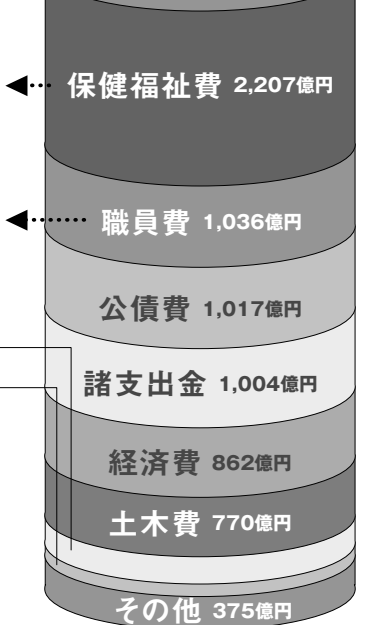
教育費 329億円

環境費 162億円

環境費 +21億円

省エネルギー機器などの購入に対する助成の実施や、清掃工場の整備などにより、大幅な増となりました。

歳出総額
7,762億円



※増減は前年度比

20年度予算における収支不足

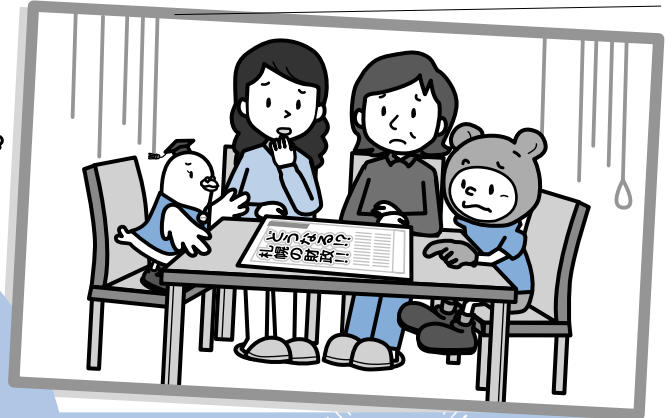
・市の対策

収支不足解消の取り組み	178億円
財政調整基金取り崩し	46億円
対策額 計	224億円

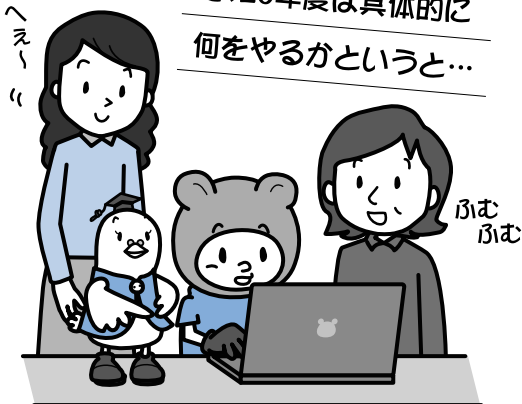
実は、20年度予算の場合、何の対策も行わなければ224億円が不足するところでした



市の財政は苦しいって聞いたけど...



で、20年度は具体的に何をやるかという...



市の主な取り組み

- 事務事業の見直し 16億円
光熱水費の節減や、施設の管理費の見直しなど
- 人件費の見直し 11億円
職員数の削減や派遣人件費の見直しなど
- 他会計への繰出金の見直し 56億円
企業会計の経営効率化などにより、一般会計からの繰り出しを削減
- サービス水準などの見直し 19億円
天神山国際ハウスの廃止など
- 財産などの活用 70億円
使う見込みのない土地の売却など

収入不足を解消

20年度の札幌はどうなるのかな?
2つの家族の場合を
見てみよう

21年度以降も収支不足が続く見通しなので、今後も努力を続けていきます



玄関マットに広告を入れるなどの、小さな努力も積み重ねています

